



国土調査事業

町では、六月下旬から早川地区、田の浜地区のそれぞれの一部（船越十二、十三地割）を対象に国土調査を始めます。同調

今月下旬から調査を開始 船越12、13地割が対象です

査は、土地の正しい位置や境界、地番、面積などを明確にさせるため、昭和五十七年から実施されているもので、地権者同士の話し合いの下に行われます。土地を正確に定めるためにも、地域の皆さんの調査へのご協力をお願いします。

▽調査期間 六月下旬～九月
▽問い合わせ 役場農林課国土調査係（☎八二一三一一内線二一五）へどうぞ。

家屋調査にご協力を 新築・増改築の建物が対象



役場税務課職員が調査に伺います

町では、五月下旬から新築、増改築した住宅などの評価額などを決めるための家屋調査を行っています。調査には、役場税務課職員

が伺いますので、ご協力をお願いします。

▽期間 十二月末まで
▽対象の建物 建物の大小に係なく新築・増改築した住宅、店舗、工場、倉庫、物置など
▽問い合わせ 役場税務課（☎八二一三一一内線二一三）へどうぞ。

名義変更したら届け出を
家屋を取り壊したり、名義を変更したりした場合などには届け出が必要です。手続きが遅れると、前の所有者に課税されることになります。そのほか固定資産税についてご不明な点は同課へお尋ねください。



植栽した記念として、苗木に自分の名前の書かれた札を取り付けました

森と海との懸け橋に

ひとことインタビュー

森の重要性を再認識



堀 合 孝 則さん
（織笠・35歳）

緑を増やす活動に貢献できればと思い、娘と一緒に参加しました。水産関係の仕事についていることもあり、海をはぐくむ森の重要性というものをさらに強く感じました。2人で植えた小さな苗木が、しっかりと根付いて、山田の森と海を守ってほしいですね。来年もぜひ参加したいと思います。

苗木の成長が楽しみ



福 士 夏 実さん
（大沢小6年）

妹と一緒に参加しました。植樹祭には1回目から参加していますが、自分の植えた苗木がしっかりと成長していてとてもうれしかったです。みんなで植えた小さな緑が山田の海を守る大きな森になるように、願いを込めて植えました。来年には、苗木がどのくらい伸びているのかとても楽しみです。



開会行事の後、植栽作業に一斉に取り掛かりました

山に広葉樹を植える運動 第3回植樹祭

340人が織笠の町有地に
コナラなど900本を植栽

町の未来を苗木に託す

山田の海を守る会（会長・沼崎喜一町長）が主催する「山に広葉樹を植える運動」第3回植樹祭が五月十一日、織笠新田地区の町有地で開かれました。

これまでではぐくまれてきた豊かな自然環境を守る活動への意識高揚を図りながら、海との結び付きの強い森の必要性和大切さを再認識してもらおうと行われているもので、三回目となる今年は、株式会社NTTドコモ東北から贈られたコナラ七百五十本と、町で購入したブナ百五十本の広葉樹が植えられました。

当日は、町内の森林愛護少年団や海づくり少年団、漁業関係者など総勢三百四十人が参加。スコップを片手に、豊かな海をはぐくむ森づくりに取り組みました。

開会行事では、沼崎喜一町長が「森は海の母親ともいわれています。はからずも今日は『母の日』。森の恵みに感謝しながら、心を込めて苗木を植えてほしい」とあいさつ。その後、参加した皆さんは宮古地方森林組合職員らの指導を受け、約二千平方メートルの植樹会場に、小さな緑の成長を願いながら、一本一本丁寧に植え込んでいました。



草の根がはった固い土を一生懸命掘り起こす参加者



参加者全員で記念撮影